

大正13年11月27日 東京朝日新聞

「応勝つ 対早大第1回ホッケー戦」 早慶対抗第1

回ホッケー戦は26日午後2時30分から戸塚球場でレフェリー小林、神宮司両氏、線審吉川、小野両氏の下に挙行前半戦。ブリーオフの球を早大小巧みに取ってドリブルし、一気に慶応ゴールに迫り頗る優勢、4分後遂に早大は慶応側にオーディナル・コーナー・ヒットを得このチャンスに名坂球を受け巧みにシュートして1点を先取す。慶応方猛然と奮起し6分後中央辺からH. B. 倉谷ロングヒットして早大ゴールに迫れば早大のG. K. 防ぎ損ねている暇に慶応の佐野飛込みブッシュして1点を奪還す。これに気をよくした慶応は14分柳沢のヒットに頽勢を挽回する頃まで早大方を圧迫して優勢、その後10分間は全く一進一退の激戦、ハーフタイム前早大方はしばしばチャンスを掴んでいたが慶応の好防に得点する機を得ず1対1の同点でハーフタイムとなる。

後半戦、開始後1分にして慶応方はR. W. 泉岡から佐野、天野へと巧みなフオワードパスで早大ゴールに迫りゴール前でL. I. の浅川更にパスを受けて1点を勝越す調子づいた慶応方はこの頃から前後のコンビネーション頗るよくなり7分後泉岡ドリブルして天野にパスし天野ゴール前の混戦にブッシュして1点を加え、早大方必死の猛襲を企て圧迫していたが22分慶応方H. B. が中央に出した球をF. W. 受け浅川ドリブルして早大ゴールに迫り天野その球をシュート復た1点を加え、25分圧迫されていた早大はF. B. 斎藤の奮闘に盛返し名坂パスを受け慶応ゴール前で小口シュートしてようやく1点を奪還す慶応方は31分更にF. B. 倉谷からのヒットを佐野受けて中央辺からドリブルし一気に見事なゴールシュートをして1点を加え5対2で慶応勝つ。

(慶 大)		(早 大)	
泉 岡	R. W.	田 口	
佐 野	R. I.	相 原	
天 野	F. C.	小 口	
浅 川	L. I.	名 坂	
遠 山	L. W.	垂 水	
岩 田	R. H.	紀 藤	
沢 津	G. H.	柳 沢	
倉 谷	L. H.	内 海	
長 井	R. B.	斎 藤	
曾 川	L. B.	大 久 保	
重 松	G. K.	小 黒	

6	P. C.	0
3	O. C.	2
8	F. H.	4